

1 教育目標

「志を持ち、未来を切り拓く生徒の育成」

2 目指す学校像

「希望の登校 充実の下校」

3 夢を叶える根郷中三本柱

「挨拶 対話 清掃」

4 目指す教師像

- 生徒の長所を引き出すことができる教師
- 生徒の教育的ニーズを把握し、必要な支援をすることができる教師
- わかる授業を実践し、学ぶ意欲を引き出す教師
- 子どもとともに学び続ける教師(指導と評価の一体化)
- 適切な初期対応を組織対応に繋げることができる教師集団

5 目指す生徒像

- 目標を持ち、全力で挑戦する生徒
- 学ぶことの意義や喜びを実感する生徒
- 健康の保持増進、体力の向上に努める生徒
- 自己を肯定し、他者を尊重できる生徒
- けじめがあり、節度ある行動が取れる生徒

6 経営の重点

重点1 学び合いの効果と成長を実感する授業づくり

○授業改善（校内研修）

- ・つけたい力や課題を明確にした授業の実践（板書の工夫）
- ・ICT、ユニバーサルデザイン化を取り入れた授業の実践
- ・学び合い学習を駆使し、深い学びにつながる授業の実践

○学習指導

- ・生徒指導の四視点(自己存在感の感受、共感的人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)を生かした授業実践
- ・学習環境の整備と授業規律の確立
- ・タブレットを活用した学習の支援、指導
- ・「体力向上」をめざした体育・保健・食育分野の連携

○道徳

- ・自他を尊重する心と道徳性を養う
- ・評価方法の研究、研修
- ・佐倉学の実践

- ・映像教材の活用
- 総合的な学習
 - ・伝統ある福祉学習の継続及び発展
 - ・キャリア学習の充実

【めざす生徒の姿と数値目標】

「授業の内容がわかる」	90%
「教師の話や友達の意見を一生懸命聴く」	100%
「進んで発言する」	70%以上
「福祉学習で学んだことを役立てる」	70%以上

重点2 安心・安全な学校づくりと社会生活に必要な基礎づくり

- 集団生活のルール、マナーの定着
 - ・根郷中三本柱の意識づけ
- 互いに支え合う温かな人間関係づくり
 - ・相手の気持ちを考えた言動の指導
 - ・心身の健康と自他の尊重をめざす保健指導
 - ・ボランティアへの積極的参加

【めざす生徒の姿と数値目標】

「心をこめたあいさつをする」	95%以上
「学校生活が楽しいと感じる」	90%以上
「思いやりのある言葉づかいをする」	90%以上
「きちんとした服装をする」	100%

重点3 自信と実践力をはぐくむ集団活動づくり

- 自主的実践力を高める生徒会活動
- 体育的・文化的行事の充実
- 集団の自浄力や所属感を高める学級活動
- 生き方を主体的にとらえ考えるキャリア教育(進路指導)
- 部活動のアップデート
- リーダーの育成

【めざす生徒の姿と数値目標】

「進んで仲間と協力できる」	95%以上
「根郷中学校を誇りに思う」	100%

7 経営の重点を支える学校体制

(1) 安全・安心な学校づくり

- 防災教育の充実
 - ・年間3回以上の避難訓練（不審者対応を含む）
- 安全指導の充実
 - ・登下校指導
 - ・施設、設備点検
 - ・家庭と連携した自転車点検
 - ・関係機関と連携した交通安全教室

○健康指導の充実

- ・健康面における家庭との情報共有
- ・関係機関と連携した薬物乱用防止教室
- ・緊急時救急体制の周知徹底

○いじめ根絶の取り組み

- ・定期教育相談、生活アンケートの実施
- ・スマホ・ケータイ等の安全教室の実施

(2) 家庭（保護者）・地域との連携

○保護者との連携

- ・授業参観、学年学級保護者会、部活動保護者会、三者面談等
- ・学年、学級だよりの発行
- ・SNSの安全な使い方研修

○開かれた学校づくり

- ・学校公開日の実施
- ・学校だよりの発行
- ・学校評議員会議の実施
- ・PTA活動の推進
- ・学校ホームページの充実
- ・学校評価アンケートの実施

〈めざす数値目標〉 肯定的回答率
生徒アンケート 90%以上
保護者アンケート 85%以上

○地域との連携

- ・福祉施設「愛光」との福祉学習の連携

○地域行事への参加

- ・社会福祉協議会、青少年健全育成会議、各地区自治会との連携など

(3) 職員体制

○信頼の構築に向けて

- ・生徒理解、人権感覚に基づいた指導
- ・不祥事根絶に向けた研修
- ・組織対応の確立

○自己研鑽に向けて

- ・授業力、指導力向上に向けた取り組み
- ・学校評価の真摯な受容
- ・若手を育てる体制づくり
- ・他教科授業の積極的相互授業参観

○学校業務の適正化

- ・佐倉型カリキュラム・マネジメントの実施
- ・部活動地域移行の確立
- ・生徒と向き合う時間の確保
- ・業務の見直し、改善

8 経営の重点を達成するための具体的な方法

(1) 教育課程に関すること

- ①生徒が主体的に学習に取り組むための適切な教育課程の編成と運用、及びそれを保証する授業時数確保
- ②学力を向上させるための基盤の整備
 - ・授業規律の確立
 - ・体験的な学習や基礎的基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を中心とした指導方法及び評価方法の積極的な工夫
 - ・生徒の学習意欲を啓発する、自主的・自発的な学習形態の推進
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動、観察・実験、問題解決的な学習などの学習活動の積極的な工夫、向上
- ③伝統ある福祉教育の継続及び発展
- ④「総合的な学習の時間」における、教科・領域での取り組みをベースにした課題解決学習や体験活動の充実
- ⑤読書の推進と佐倉南図書館の活用・連携
- ⑥道徳教育推進教師を中心に生徒の内面に根ざした道徳性の育成をめざす道徳の授業の推進
- ⑦生徒の自己実現のための、人間関係形成能力をはじめとする能力・資質の育成を図るキャリア教育・進路指導の推進

(2) 生徒指導に関すること

- ①生徒指導体制の確立し、教師と生徒、生徒同士の信頼関係や生徒同士の人間関係の育成
- ②いじめや暴力行為は絶対に許さない、という毅然たる指導体制の維持と適切な初期対応による家庭との連携
- ③本校の三本柱「挨拶、対話、清掃」の意識づけ
- ④定例教育相談の充実、S C、S S Wとの連携の強化
- ⑤校内不登校支援教室の運営
- ⑥ボランティア活動への積極的参加

(3) 特別支援教育に関すること

- ①特別支援教育コーディネーターを核とした、全職員による「特別な支援を要する生徒」への指導体制の確立
- ②交流学級での活躍の場の充実

(4) 授業力の向上に関すること

- ①学習指導要領の趣旨を踏まえた授業を行うための指導法の工夫・改善の表明と実践
- ②「指導と評価の一体化」を念頭に入れた評価方法の工夫
- ③つきたい力や課題を明確にした授業実践
- ④教え合い学習を駆使し、学びを実感する授業の実践
- ⑤外部講師や指導主事等による、年間を通した授業研修の積み重ね
- ⑥相互授業参観から学ぶ主体的・対話的で深い学びの充実

(5) 特別活動に関すること

- ①全校評議会、生徒委員会等、生徒会活動の取組の中でのリーダーの育成
- ②本校の伝統行事を大切に、生徒一人ひとりのよさや可能性を発揮させる中での達成感・充足感の体得と学校生活への意欲の高揚
- ③部活動における生徒の個性と自主性の育成

(6) 地域社会との連携に関すること

- ①年間を通した授業公開日の設定、学校行事への保護者や地域の方々の積極的な参加の

推進等を通した「地域に開かれた学校」の定着

- ②保護者アンケート、学校関係者評価等の結果を真摯に受け止め、教職員で問題意識を共有し、組織として「信頼される学校」づくりの推進
- ③社会福祉協議会、青少年健全育成会議をはじめとする外部機関との連携の推進

(7) 職員の育成に関すること

- ①人事評価制度を活用し、教育目標の具現化に努めるとともに組織の活性化を図り、一人ひとりの指導力の向上をめざす取組
- ②若手職員の活躍の場の設定とベテラン職員のキャリアアップの融合
- ③当事者意識の醸成を目的とした不祥事根絶の研修
- ④学校業務の適正化の推進